

2021衆院選の情勢

南関東

菌浦と矢崎は接戦

千葉

1区(自)
〈千葉市中央、稲毛、美浜区〉
田嶋 要 60〇立 前
門山 宏哲 57〇自◎前因
前は比例復活だった田嶋が内閣不支持層の8割を固めてリード。門山は自民支持層の7割、公明支持層の5割強をおさえた。

2区(自)
〈千葉市花見川区、習志野市など〉
寺尾 賢 45〇共 新
小林 鷹之 46〇自◎前因
黒田 雄 62〇立 元
経済安全保障相として初入閣した小林が高い知名度と組織力で先行。自民、公明支持層の8割以上をおさえる。黒田は元衆院議員の実績訴えて追う。寺尾は共産支持層以外への浸透が課題。

3区(自)
〈千葉市緑区、市原市〉
松野 博一 59〇自◎前因
岡島 正一 63〇立 前
官房長官の松野が知名度と組織力を背景に優位に立つ。内閣支持層、自公支持層の9割を固めた。岡島は野党共闘をアピールし内閣不支持層の7割をまとめ、無党派層の取り込みをめざす。

4区(無)
〈船橋市南部〉
木村 哲也 52〇自 前因
野田 佳彦 64〇立 前
元首相の野田は知名度を生かして票を固める。内閣不支持層の8割、内閣支持層の2割を取り込んだ。木村は自民支持層の7割、公明支持層の6割をおさえた。

5区(自)
〈市川市南部、浦安市〉
矢崎堅太郎 54〇立 新
鶴田 敦 55〇国 新
椎木 保 55〇維 元
菌浦健太郎 49〇自◎前因
菌浦が矢崎を追う。菌浦が自民支持層の8割、公明支持層の7割をまとめ、矢崎は椎木や鶴田と内閣不支持層の票を争う。

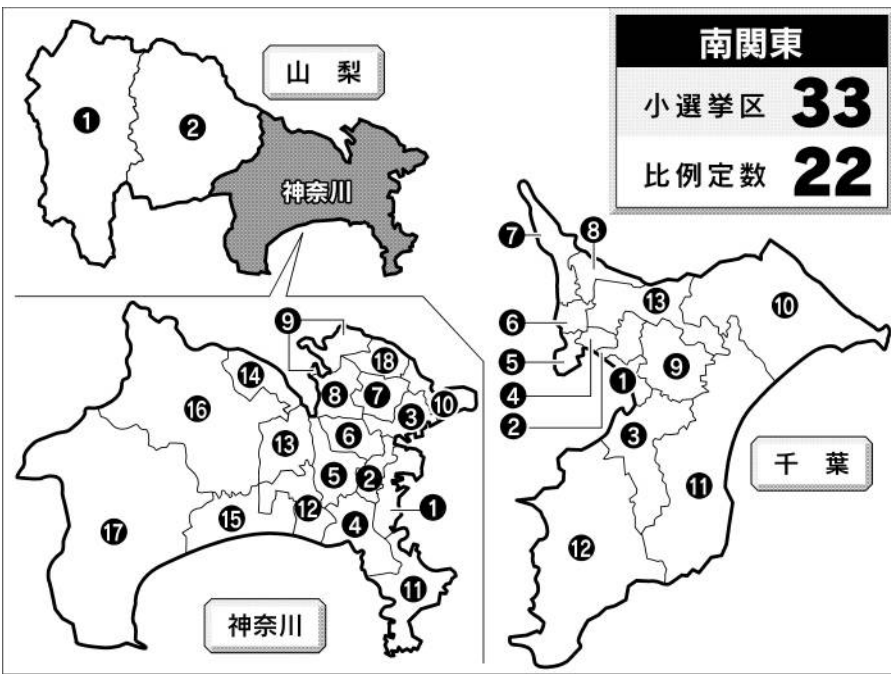
6区(自)
〈市川市北部、松戸市南部〉
藤巻 健太 38〇維 新
渡辺 博道 71〇自◎前因
浅野 史子 51〇共 新
生方 幸夫 74 無 前
野党候補が乱立し齋藤が自民支持層の8割、公明支持層の7割をおさえて優勢。竹内は追い上げを急ぐ。

8区(自)
〈柏市の旧市部、我孫子市〉
本庄 知史 47〇立 新
桜田 義孝 71〇自◎前因
宮岡進一郎 80 無 新
本庄が野党共闘を支えに先行。立民支持層の9割、共産支持層の7割を固める。桜田は自民支持層の6割弱、公明支持層の5割弱をおさえた。

9区(自)
〈千葉市若葉区、佐倉市など〉
奥野総一郎 57〇立 新
秋本 真利 46〇自 前因
奥野と秋本が激しく争う。奥野は野党一本化の効果に期待。立民支持層の9割、共産支持層の8割をまとめた。秋本は自公支持層の7割強を固めた。

10区(自)
〈銚子市、成田市、旭市など〉
今留 尚人 56 無 新
梓 まり 50 諸 新
谷田川 元 58〇立 前
林 幹雄 74 自◎前因
谷田川と林が横一線と競り合う。谷田川は内閣不支持層の8割、林は内閣支持層の7割を固めた。谷田川は立民、共産支持層の8～9割をまとめる。

11区(自)
〈茂原市、東金市、勝浦市など〉
多ヶ谷 亮 52〇自 新
森 英介 73 自◎前因
椎名 史明 64 共 新
強固な地盤を持つ森が自民支持層の8割、公明支持層の6割弱をおさえて優勢に戦う。椎名は共産支持層の9割を固めるものの、立民支持層では5割にとどま



る。多ヶ谷は内閣不支持層への浸透狙う。

12区(自)
〈水更津市、館山市、君津市など〉
葛原 茂 70 共 新
浜田 靖一 66〇立 前因
樋高 剛 55〇立 元
浜田が固い支持基盤を支えに安定した戦い。自公支持層の8割をおさえた。樋高は立民支持層の8割、無党派層の2割の支持を足がかりに票の上積みを狙う。葛原は共産支持層の6割をまとめた。

13区(自)
〈船橋市北部、鎌倉市、印西市など〉
宮川 伸 51〇立 前
松本 尚 59〇自 新因
清水 聖士 60〇維 新
宮川と松本の競り合い。宮川は野党共闘の候補として立民支持層の8割、共産支持層の7割を固める。松本は自民が公募により擁立し、自公支持層の7割まで浸透した。清水は党勢拡大をめざす。

14区(自)
〈相模原市中央区、緑区の一部など〉
長友 克洋 50〇立 新
赤間 二郎 53〇自◎前因
赤間と長友が競り合う展開。赤間は自民、公明支持層の8割程度を固める。長友も立民、共産それぞれの支持層の8割以上をまとめる。無党派層は長友が3割をおさえたもの、態度未定が多い。

15区(自)
〈平塚市、茅ヶ崎市、中郡〉
佐々木 克己 66〇社 新
河野 太郎 58〇自◎前因
渡辺麻里子 45 N 新
ワクチン担当関係を務め、自民総裁選を争った河野が独走。内閣支持層の9割、内閣不支持層の5割をまとめた。無党派層からも5割超の支持を得る。佐々木は党勢拡大に向けて全力。

16区(自)
〈相模原市南区の一部、厚木市など〉
義家 弘介 50〇自◎前因
後藤 祐一 52〇立 前
後藤と義家が競り合う。後藤は立民支持層の9割、共産支持層の8割弱をおさえた。義家は自民支持層の7割、公明支持層の6割をまとめ、さらなる組織固めと無党派層からの支持が焦点になる。

菅、優勢な戦い

神奈川

1区(自)
〈横浜市中、磯子、金沢区〉
浅川 義治 53〇維 新
松本 純 71 無 前
篠原 豪 46〇立 前
篠原がリード。立民支持層の9割、共産支持層の7割をまとめた。自民を離脱した松本は自民支持層の5割、公明支持層の6割強を固めて懸念を追う。

2区(自)
〈横浜市中、南、港南区〉
岡本 英子 57〇立 元
菅 義偉 72〇自 前因
前首相の菅が優勢。自民、公明支持層の8割をおさえた。共産は「自公政権の象徴的選挙区」と位置づけ候補を見送り。岡本は巻き返しをかける。

3区(自)
〈横浜市鶴見、神奈川区〉
中西 健治 57〇自 新因
小林 丈人 50〇立 新
藤村 晃子 48 無 新
木佐木忠晶 37 共 新
中西は自公支持層の8割を固め手強い

戦い。辞職した小此木八郎元国家公安委員長の後継として足場を築いた。小林、木佐木は支持拡大が課題。

4区(立)
〈横浜市栄区、鎌倉市、逗子市など〉
山本 朋広 46〇自 前因
浅尾 一郎 57 無 元
早稲田夕季 62〇立 前
大西 恒樹 57 無 新
高谷 清彦 42〇維 新
早稲田と浅尾が競る。早稲田は立民支持層の8割弱、共産支持層の6割を固めた。浅尾は自民支持層の4割、立民支持層の2割、無党派層の4割と幅広い後押しが支え。山本は巻き返しをかける。

5区(自)
〈横浜市戸塚、泉、瀬谷区〉
山崎 誠 58〇立 前
坂井 学 56〇自 前因
山崎と坂井が横一線。山崎は立民支持層の9割、共産支持層の8割弱をおさえた。坂井は自民支持層の8割弱、公明の7割弱を固める。無党派層の動向が左右。

6区(立)
〈横浜市保土ヶ谷、旭区〉
串田 誠一 63〇維 前

北陸信越

黒岩と斎藤、今回も激戦

新潟

1区(立)
〈新潟市の旧市部〉
石崎 徹 37〇維 元
塚田 一郎 57〇自 前因
西村智奈美 54〇立 新
立民支持層の9割強、共産支持層の8割強を固める西村が先行。塚田は自民支持層の7割、公明支持層の5割をおさえた。

2区(無)
〈柏崎市、燕市、佐渡市など〉
高倉 栄 50〇国 新
細田 健一 57〇自◎前因
平 あや子 41〇共 新
保守分裂を回避した細田が先行。自民支持層の8割、公明支持層の7割強を固める。野党共闘はできず立民支持層は平に5割弱、高倉に3割弱と分散。

3区(無)
〈新発田市、村上市、五泉市など〉
黒岩 宇洋 55〇立 前因
齋藤 洋明 44〇自◎前因
前は50票差で勝った黒岩が今回も激しく齋藤と競り合う。黒岩は立民支持層の9割強をまとめ、無党派層の支持も広げる。齋藤は自民支持層の8割を固め、保守基盤へのさらなる浸透をめざす。

4区(無)
〈三条市、加茂市、見附市など〉
菊田真紀子 52〇立 前因
国定 勇人 49〇自 前因
菊田が立民支持層の9割、共産支持層の8割を固めて先行。無党派層の4割の支持も得た。国定は保守層の支持を足がかりに追う。

5区(自)
〈長岡市の旧市部、小千谷市など〉
米山 隆一 54 無 新因
森 民夫 72 無 新
泉田 裕彦 59〇自◎前因
2人の県知事経験者と元長岡市長が争う。米山が内閣不支持層の7割を固めてリード。自民支持層は5割弱が泉田、3

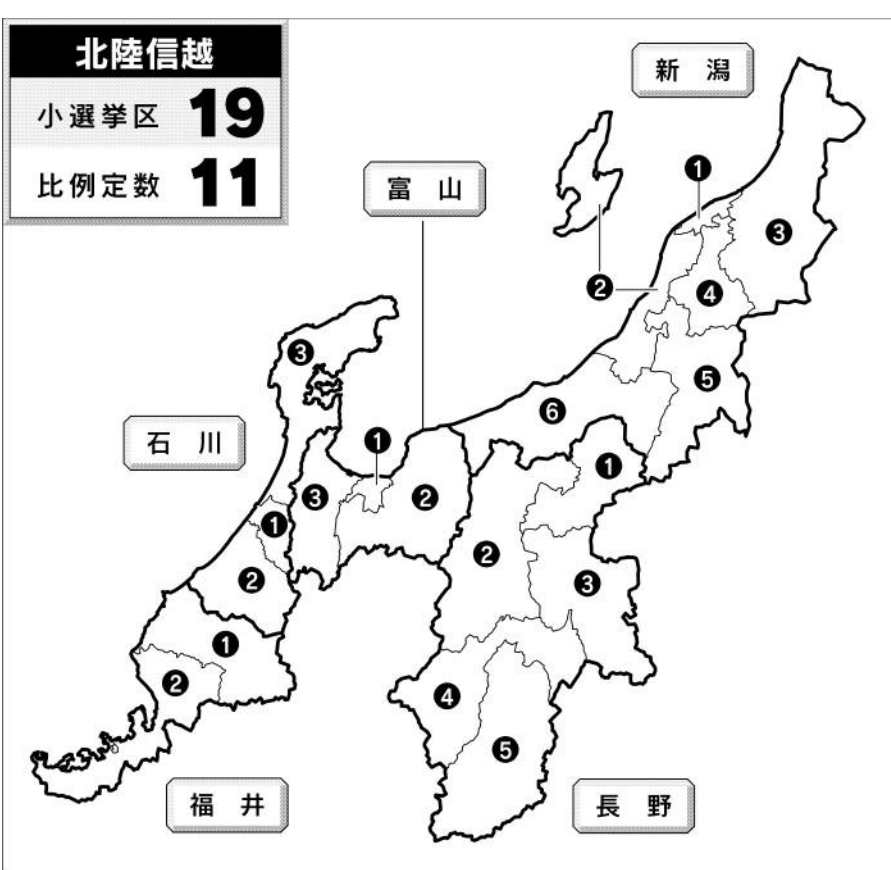
割強が森と分散している。

6区(自)
〈上越市、糸魚川市、妙高市など〉
梅谷 守 47〇立 新
高島 修一 61〇自◎前因
神鳥 古賛 53 無 新
梅谷と高島が激しく争う。梅谷は内閣不支持層の8割以上をまとめ、内閣支持層や無党派層の切り崩しを狙う。高島は地元議員や経済団体との関係を生かし、自民支持層の7割を固める。

富山
田畑、安定した戦い
1区(自)
〈富山市の旧市部〉
青山 了介 46 共 新
西尾 政英 60〇立 新
田畑 裕明 48〇自◎前因
吉田 豊史 51〇維 元
田畑が手堅く地盤を固めて安定した選挙戦。自民支持層の8割をまとめあげ、全体の半数をうかがう。野党は共闘ができず内閣不支持層は吉田と西尾に3割ずつ、青山に2割がまわる構図。

2区(自)
〈魚津市、滑川市、黒部市など〉
上田 英俊 56〇自 新因
越川 康晴 57〇立 新
前職の引退に伴い、自民と立民の新人同士の一騎打ち。上田が自民支持層の8割以上を固め幅広い支持を得て先行する。越川は支持団体の票固めを図るものの、保守層への切り込みが課題。

3区(自)
〈高岡市、射水市、水見市など〉
橋 慶一郎 60〇自 前因
坂本 洋史 51 共 新
強固な保守の地盤をおさえた橋が独走。自民支持層の9割をまとめ、立民支持層の3割弱、維新支持層の5割超の支持を得る。坂本が固めた立民支持層は3割でさらなる支持拡大が焦点。



石川
西田と近藤、横一線
1区(自)
〈金沢市〉
小林 誠 44〇維 新
荒井 淳志 27〇立 新
小森 卓郎 51〇自 前因
亀田 良典 72 共 新
県知事選への転出を表明した元文科相の地盤を引き継いだ小森が安定した戦い。野党は一本化が出来る支持が割れる。内閣不支持層は5割が荒井、2割が小林、2割弱が亀田と分散する。

2区(自)
〈小松市、加賀市、白山市など〉
坂本 浩 57 共 新
佐々木 紀 47〇自◎前因
山本 保紀 68 無 新
強固な支持基盤をもつ佐々木が安定した

長野
神津を井出が追う
1区(無)
〈長野市の旧市部、須坂市など〉
篠原 孝 73〇立 前
若林 健太 57〇自 前因
篠原が地盤を固めてリード。立民支持層の9割強、共産支持層の8割強をまとめたほか、無党派層の6割の支持も得て優勢な戦い。若林は自民支持層の8割強をおさえて追い上げをめざす。

2区(希)
〈松本市、大町市、安曇野市など〉
手塚 大輔 38〇維 新
下条 みつ 65〇立 前
務台 俊介 65〇自◎前因
下条が立民支持層の9割、共産支持層の8割をおさえて優位に戦いを進める。内閣支持層の2割弱も取り込む。務台は自民支持層の7割をまとめて追い上げを図る。手塚は埋没回避に全力。

3区(希)
〈上田市、小諸市、佐久市など〉
神津 健 44〇立 前
井出 庸生 43〇自◎前因
池 高生 53〇N 新
神津が立民と共産の支持層の9割程度を固め、井出が追い上げる。井出は自民、公明の支持層の8割をおさえる。無党派層は3割強が神津、4割弱が井出の支持にまわっている。池は独自性をアピール。

4区(自)
〈岡谷市、諏訪市、茅野市など〉
長瀬由希子 53 共 新
後藤 茂之 65〇自 前因

星野 剛士 58〇自 前因
阿部 知子 73〇立 前
水戸 将史 59〇維 元
阿部と星野が競り合う。阿部は内閣不支持層の7割弱、星野は内閣支持層の7割をまとめた。無党派層は3割を阿部がおさえたが態度未定も多い。水戸は党勢拡大を図る。

13区(自)
〈大和市、座間市の一部など〉
大 志志 44〇立 新
甘利 明 72〇自◎前因
甘利と太が競る。自民幹事長の甘利は自民支持層の8割、公明支持層の6割をおさえる。共産が候補擁立を見送り、太は立民支持層の9割、共産支持層の6割を固める。無党派層取り込みが焦点。

14区(自)
〈相模原市中央区、緑区の一部など〉
長友 克洋 50〇立 新
赤間 二郎 53〇自◎前因
赤間と長友が競り合う展開。赤間は自民、公明支持層の8割程度を固める。長友も立民、共産それぞれの支持層の8割以上をまとめる。無党派層は長友が3割をおさえたもの、態度未定が多い。

15区(自)
〈平塚市、茅ヶ崎市、中郡〉
佐々木 克己 66〇社 新
河野 太郎 58〇自◎前因
渡辺麻里子 45 N 新
ワクチン担当関係を務め、自民総裁選を争った河野が独走。内閣支持層の9割、内閣不支持層の5割をまとめた。無党派層からも5割超の支持を得る。佐々木は党勢拡大に向けて全力。

16区(自)
〈相模原市南区の一部、厚木市など〉
義家 弘介 50〇自◎前因
後藤 祐一 52〇立 前
後藤と義家が競り合う。後藤は立民支持層の9割、共産支持層の8割弱をおさえた。義家は自民支持層の7割、公明支持層の6割をまとめ、さらなる組織固めと無党派層からの支持が焦点になる。

比例 定数22

公明「3」うかがう
自民は9議席をうかがい、立民は7議席以上を獲得する勢い。公明は3議席を獲得する可能性がある。共産が2議席、維新が1議席を固めた。
【自民】①門山宏哲57※前①小林鷹之46※前①松野博一59※前①木村哲也52※前①菌浦健太郎49※前①渡辺博道71※前①齋藤健2※前①桜田義孝71※前①秋本真利46※前①浜田靖一66※前①松本尚59※前①菅義偉72※前①中西健治57※前①山本朋広46※前①坂井学56※前①古川直生53※前①鈴木馨祐44※前①三谷英弘45※前①中山展宏53※前①田中徳72※前①星野剛士58※前①甘利明72※前①赤間二郎53※前①河野太郎58※前①義家弘介50※前①牧島かれん45※前①山際大志郎53※前①中谷真一45※前①堀内昭子56※前①出畑実71前①高橋恭介47※前①文月涼54※前①望月忠彦59※前①高木昭彦54※前①及川博64※前

【立民】①田嶋要60※前①黒田雄62※元①岡島正一63※前①野田佳彦64※前①矢崎堅太郎54※前①竹内千春53※前①本

17区(自)
〈小田原市、秦野市、南足柄市など〉
牧島かれん 45〇自◎前因
神山 洋介 46〇立 元
山田 正 70 共 新
デジタル相に就任した牧島が高い知名度を背景にリード。自民支持の8割、公明支持の7割をまとめる。神山は立民支持層の8割を固めて切り崩しをめざす。山田は組織引き締めで懸命。

18区(自)
〈川崎市高津区、宮前区の一部など〉
三村 和也 46〇立 元
横田 光弘 63〇維 新
山際大志郎 53〇自◎前因
経済財政・再生相に就いた山際が手堅く戦う。自民支持層の8割、公明支持層の7割をおさえて組織力をみせる。三村は内閣不支持層の7割弱を取り込み支持拡大に躍起。横田は党勢拡大を図る。

山梨
中島・中谷、競り合う
1区(無)
〈甲府市、韭崎市、北杜市など〉
中谷 真一 45〇自◎前因
中島 克己 54〇立 前
辺見 信介 57 N 新
中島と中谷が横一線と競り合う。中島は立民支持層の9割、共産支持層の7割弱、無党派層の5割を固める。中谷は自民支持層の8割強、公明支持層の7割強をまとめた。辺見は独自の戦い。

2区(無)
〈富士吉田市、大月市など〉
市来 伴子 44〇立 新
大久保 令子 71 共 新
堀内 昭子 56〇自◎前因
ワクチン担当相に就いた堀内が優勢に戦う。前回衆院選まで続いた保守分裂が解消し、自民支持層の9割弱、公明支持層の7割弱を固めた。野党共闘にならなかつた市来、大久保が追う。

庄知史47※前①奥野総一郎57※前①谷田川元58※前①樋高剛55※元①宮川伸51※前①篠原豪46※前①岡本英子57※元①小林丈人50※前①早稲田夕季62※前①山崎誠58※前①青柳陽一郎52※前①中谷一馬38※前①江田憲司65※前①笠浩史56※前①阿部知子73※前①太米志44※前①長友克洋50※前①河野太郎58※前①神山洋介46※元①三村和也46※元①中島克己54※前①市来伴子44※前①小野次郎68元①金子健一63元

【公明】①古屋範子65前②角田秀徳60元③上田勇63元④江端功一43前⑤井川泰雄47前

【共産】①志位和夫67前②畑野君枝64前③齋藤和子47元④沼上徳光35前⑤寺尾賢45※前

【維新】①椎木保55※元①藤巻健太38※前①内山晃67※元①清水聖士60※前①浅川義治53※前①高谷清彦42※前①串田誠一63※前①吉田大成51※前①木村龍那42※前①水戸将史59※元①横田光弘63※前

【国民】①鈴木敦32※前①鶴田敦55※前③長谷康人40前

【れいわ】①多ヶ谷亮52※前②木下隼39前

【社民】①佐々木克己66※前

【N党】①渡辺敏光37前